

## この人

うなぎの完全養殖を実現した  
いー。特定非営利活動法人シ  
ビルNPO連携プラットフォーム  
ム（CNCP、山本卓朗代表理  
事）のCNCPシンクタンクチ  
ームは「うなぎ完全養殖インフ



三井 元子さん  
みつい もとこ

CNCPシンクタンクチーム座長  
NPO法人あらかわ学会副理事長

## うなぎの完全養殖実現を

「整備事業研究会」を設立する。現在、店頭で販売されている養殖うなぎは、天然シラスウナギの稚魚を成魚に育てたものであり、卵からの完全養殖は、いまだ実現していない。完全養殖を実現することは、ニホンウナギの保護と日本の食文化を守ることにつながる。座長を務める三井元子NPO法人あらかわ学会副理事長は「日本産のうなぎがゼロ歳から育て食べられるようになれば、日本人みんながハッピーだ」と意欲を示している。

ニホンウナギの完全養殖には、良質の水資源が不可欠とされ、養殖プールや浄化設備が必要であることから、中山間地の規模の縮小や廃止が予定されている取水施設や水処理施設など

のインフラの利活用が望ましく、そこにCNCPの支援が有効と考えた。

「うなぎが増えていくことは、うなぎが住みやすい川づくりにも期待を寄せるとともに「廃施設となっっている下水処理場や浄水場などを有効活用することで、地域の活性化にもつながる。若者たちの雇用の場にもなり、楽しく過ごす場をつくれたら良いとも思っている」と視野は広がる。「いろいろな分野の方々に関心を持ってもらって、参加してもらえれば、幅の広い話し合いができる」と見据えている。研究会は4月末まで会員を募集している。5月中旬にキックオフする予定だ。